

トロッコ列車 (碓氷峠鉄道文化むら)

104年の歴史に幕を下ろした碓氷線は、歴史的価値が非常に大きなものであり、国の重要文化財になっている旧丸山変電所や碓氷第三橋梁（通称・めがね橋）はもちろんのこと、鉄道史に残るED42形電気機関車やEF63形電気機関車等は、後世に受け継ぐべき貴重な文化遺産です。そこで旧松井田町やJR東日本の協力を得て開村。碓氷線の歴史を伝える鉄道資料館、碓氷線で活躍した各種電気機関車や特急の「あさま号」を展示。さらに、EF63形電気機関車の体験運転もできる施設になっています。



平成9年に廃止となった信越線横川～軽井沢間の下り線を使用し、トロッコ列車を運行。



旧丸山変電所は、明治45年横川～軽井沢間の電化に伴い建設された施設。横川側の建物は蓄電室、軽井沢側が機械室の2棟の建物。

昭和38年新線開通とともに役目を終えましたが、平成6年国の重要文化財に指定され、平成12年復元工事が実施されました。現在見学は外見のみで、中の公開はしていないとのことでしたが、今回特別にまるやま駅に停車、拝見させていただきました。

